

東日本大震災と私

作成者 T.R2

1, 地震当日2011. 3. 11の私の体験

2, 地震三ヶ月間の私の動き

3, 今私にできること

English

1, 地震当日2011. 3. 11の私の体験

五時間目の体育の授業が終わり、私は横手清陵学院3年A組の教室に座って6時間目の授業を待っていた。2時46分ごろ、私は初めて異変に気づいた。最初は窓が揺れているだけだった。時間がたつにつれて、窓はガタガタと大きく揺れ、地面も大きく揺れ始めた。危険を感じた私はドアを開けに行った。先生に指示され、生徒は机の下に潜った。2, 3分の間、揺れはおさまらなかった。その後も余震が続く、私たちは約20分の間、教室にとどまっていた。その後、生徒たちは体育館に集められ、各自帰宅することになった。私は友人たちと駅まで徒歩で向かった。私はそのとき初めて信号が点灯していないことに気づいた。駅に着いた私たちだが、電車は動いてなく、バスで帰ることになった。信号が点灯していない中で、いつもなら車で30分かかる道を二時間かけて帰った。駅に着いた私は愕然とした。いつもは電気で明るい湯沢駅前が真っ暗だった。私は湯沢駅から自宅に電話したがつながらなかった。仕方なく母の携帯電話に連絡したがそれもなかなかつながらなかった。ようやく家に帰った私だが、電気もつかず、水も流れず、電話もつながらないという状況だった。しかも、当時はまだ冬だったのでストーブが使えず、とても寒かった。その日はろうそくの明かりでカップ麺を食べて、すぐに床についた。停電は翌日の午後7時頃まで続いた。この経験を通して、初めて自分の生活がいろいろなものによって支えられていることに気づいた。

2, 地震後三ヶ月間の私の動き

地震による福島原子力発電所事故により、私たちは常に放射線の恐怖を感じるようになった。

また、電力不足により計画停電の実施が決定した。実際に行われることはなかったが、私たちは節電を心がけなくてはいけなくなったのである。

さらにはガソリン不足が起こり、価格は上昇、給油制限を設けるガソリンスタンドもあった。時には、10時間近くも並ばなくてはいけないという事態も起こった。

四月七日にはまた震度5の地震が起こり、二度目の停電も経験した。そのせいで清陵セミナーの宿泊もなくなり、私たちの生活へも影響した。

3, 今私にできること

今でも地震の影響で避難を続けている人や、復興のためにがんばっている人が多くいる。そんな人たちのためにも私にできることはやはり節電や節水だと思う。今回の地震の影響で私は長時間の停電を初めて経験した。電気や水道、連絡手段のない生活は本当に大変だった。その苦しさを知っているからこそ、私は節電、節水を心がけ少しでも国への負担を減らしたいと考えている。

Abstract in English

1, W h e n 2 0 1 1 , 3 , 1 1 ,

I sat on my chair in our class room. I was waiting for the next class. The earthquake occurred at 2:46.

At first , the windows were shaking. The shaking continued for a few minutes.

After an hour, I came back to home by bus. I was afraid of aftershocks.

2, D u r i n g t h r e e m o n t h s ,

I was afraid of radiation.

Electricity and oil were not enough.

3, T o d a y

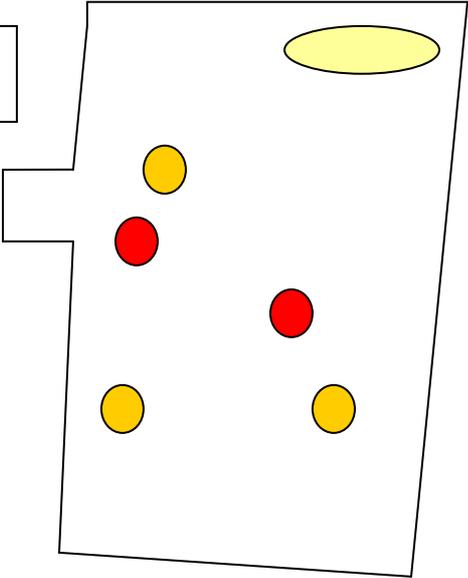
I experienced higasi-nihon-daisinsai. And I learned some things. I want to try hard for Japan.

http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/shindo_db/db_map/indexemg.html

↑

気象庁のホームページで最新の地震のデータがよくわかる。

秋田県



● 震度 5 強 秋田市 大仙市

● 震度 5 弱 井川町 横手市等

○ 震度 4 秋田県全域

● 震度 3 小坂町 八峰町